

●様々な階層、集団に見られる女神祭祀の多様な展開を詳述した貴重なモノグラフ。  
●王権・カースト・親族・ジェンダーなど、南アジア人類学の今日的課題に迫る力作。

# ヒンドゥー女神と村落社会

——インド・ベンガル地方の宗教民俗誌

広島大学 外川昌彦著

## ●目次

### 序論

#### 第一部 村落の概況

- 第一章 ベンガル農村社会の歴史的背景
- 第二章 調査村の社会的背景
- 第三章 調査村の歴史的背景

#### 第二部 ヒンドゥー王権と女神

- 第一章 ジョガッダ女神寺院の祭祀組織
- 第二章 ジョガッダ女神寺院の年中行事
- 第三章 ジョガッダ女神寺院の儀礼
- 第四章 ジョガッダ女神祭祀と村落社会

#### 第三部 村落社会と女神

- 第一章 寺院祭祀と村落祭祀
- 第二章 ドゥルガ女神祭祀
- 第三章 モノシャ女神祭祀
- 第四章 農耕儀礼

#### 第四部 家庭祭祀と女神

- 第一章 少女による雨乞いの儀礼
- 第二章 プロト儀礼に関する民俗学的研究
- 第三章 プロト儀礼に関する文化人類学的研究
- 第四章 調査村におけるプロト儀礼
- 第五章 プロト儀礼の体系
- 第六章 ビポッタリニ・プロト儀礼
- 第七章 ショステイ女神のプロト儀礼
- 第八章 少女によるプロト儀礼(クマリ・プロト)
- 第九章 ラクシュミー女神のプロト儀礼
- 第一〇章 その他のプロト儀礼
- 第十一章 プロト儀礼と女性

あとがき 参考文献 付表 語彙集  
図表・写真一覧 索引

本書は、インド西ベンガル州ボルドマン県の村落社会の事例に基づいた、ヒンドゥー社会の宗教的世界に関する文化人類学的研究である。調査村で見出された様々な儀礼的・社会的関係に依拠したカーストや階層、集落や世帯の多様性を、女神祭祀を中核とし相互に密接に関連した複合的なネットワークとして描き出している。これまで、個別の論点として論じられることの多かった問題を、村落の女神祭祀を導きの糸として、村落社会の様々な儀礼や社会の相関を多元的に結びつけることで、その生活世界の広がりをも明らかにしている。そのため本書は、ベンガル農村の生活世界を眺望する民俗誌的な記述をとりながら、王権やカースト、親族やジェンダーなどの南アジア人類学における多様な課題を考察する試みとなっている。言い換えると、ヒンドゥー社会の多元的な側面を、村落女神を中心とした儀礼組織を中核に置くことで、家庭の少女の祭祀から広域的なヒンドゥー王権までを眺望した、ひとつのモノグラフとして描き出すうとするものである。

このようなベンガルの民俗社会を本書で取り上げることの方法論的な位置づけを、初めに文化人類学的な見地から二つの観点に整理して述べて見たい。すなわち(一)従来の南アジアの村落モノグラフに見られる静態的・完結的……〔序論〕より

体裁 定価  
・ A5判・上製・カバー  
・ 一〇〇〇円  
・ 五六〇頁 (本体価格/税別)

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一四一九  
電話〇三(三八二八)九二四九  
http://www.fukyo.co.jp

注 文 書

センター  
取扱品

出版  
流通

発売  
風響社 TEL: 03-3828-9249

本体  
一〇〇〇円

部

外川昌彦著

ヒンドゥー女神と村落社会

インド・ベンガル地方の宗教民俗誌

ISBN4-89489-013-5 C3039 ¥10000円

〔お客様控ええ〕

ご氏名

ご住所

お電話

月 日